

# 平成18年度 飯山市栄誉賞表彰式

市では表彰条例に基づき、スポーツの分野で顕著な成績を挙げた方、または学術・芸術等で文化の興隆に貢献された方で、市民に明るい希望を与えた方に飯山市栄誉賞を贈っており、



平成18年度飯山市栄誉賞 受賞された皆さん（敬称略）

3月18日には今年度の表彰式を市役所で行いました。今回受賞されたのは、先に行われた全国高等学校スキー大会、国体、全日本スキー選手権でそれぞれ優勝した1団体、6名。この

日出席した受賞の皆さんには、石田市長から表彰状と記念のトロフィーなどが手渡されました。受賞者の皆さんの今後のご活躍をお祈り申し上げます。

氏名	所属	功績
柏原 暢仁 <small>のぶひと</small>	飯山南高等学校	第56回全国高等学校スキー大会 クロスカントリー競技 10 kmクラシカル 優勝 15 kmフリー 優勝
小田佳奈里 <small>かなり</small>	飯山南高等学校	第56回全国高等学校スキー大会 クロスカントリー競技 10 kmフリー 優勝
飯山南高等学校 クロスカントリー女子リレーチーム		1走 高橋 春香 2走 柏原 理子 3走 小田佳奈里 第56回全国高等学校スキー大会 クロスカントリー競技 女子3×5 kmリレー 優勝
飯山南高等学校		第56回全国高等学校スキー大会 男女総合優勝
山室 忠 <small>ただし</small>	飯山市スキークラブ	第62回国民体育大会冬季大会 スキー競技会 クロスカントリー 成年男子A優勝（4連覇）
竹内 択 <small>たく</small>	北野建設スキー部	第85回全日本スキー選手権大会 スペシャルジャンプ個人 ノーマルヒル優勝

## 「アスパラガス産地再生事業」今年度も実施します

日本一のアスパラガス産地の飯山市。アスパラガスを作付けする際の苗代等を助成します。

アスパラガスの作付面積、生産量とも日本一の産地として知られる飯山市。しかし近年は生産農家の高齢化、立枯症の発生などさまざまな要因により生産量が落ち込んでいます。飯山市のアスパラガス生産を見ると、作付面積は平成2年の734ヘクタールが、また収穫量は平成9年度の3070トンがピークとなっており、その後平成17年度では作付面積531ヘクタール、収穫量1630トンと最盛期の半分近くまで落ち込んでいるのが現状です。

このような状況のなか、飯山市では昨年よりアスパラガス産地再生事業を実施し、新たにアスパラガスを作付けする一定の条件に該当する生産者の皆さんに左記のとおり苗代等の助成を行っています。日本一の生産地を維持するためにも、ぜひご活用ください。

- 助成の内容 新植にかかる経費（苗代等）の助成
- 助成額 10 a当たり2万円（新植にかかる経費の3分の1相当）
- ※JAへのアスパラガス出荷生産者は、別途JAより同様の助成があります。
- 条件…以下の条件をすべて満たす方が対象です。
  - ①新植の畑に限る（立枯症回避のため、過去にアスパラガスを作付けた畑地は概ね10年期間を空けたもの）
  - ②ほ場の規模が概ね10a以上（ある程度まとまった農地）
  - ③標準的な定植、肥培管理を行っていること。
  - ④自作地であること。借地の場合は、利用権設定等を行ってください。
  - ⑤市税等の滞納が無い世帯の構成員
- 対象地域 全市
- 申請締め切り日 6月29日
- ※申請後は、現地確認を行い苗の活着状況を確認し、補助金交付します。
- 申請先 市役所農林課振興係 ☎3111 内線262  
JA北信州みゆき農業課 ☎5600

## 市議会3月定例会から

3月1日に招集された市議会3月定例会は20日間の会期で審議が行われ、上程された49議案はすべて可決されました。

### 平成19年度予算

25ページをご覧ください。

### 平成18年度補正予算

一般会計の補正予算額は約6億1614万円の減額。これにより平成18年度の予算総額は約143億66万円となりました。

このほか特別会計と水道事業会計を合わせて約1億93万円の減額補正をしています。主な内容は次のとおりです。

- ▽飯山市観光協会運営事業（150万円）：観光協会法人化補助
- ▽除雪対策事業（4700万円減）：寡雪による除雪委託料の減額
- ▽保育所整備事業（245万円）：柳原保育園の耐震診断委託等
- ▽飯山市副市長定数条例：地方自治法の一部を改正する法律の公布に伴い、副市長の定数を定めるもの。（定数を1人と定める）
- ▽特別職の職員等で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例：地方自治法の一部改正により、助役制度、収入役制度の見直しを行うもの（助役に代えて副市長を置く、収入役の廃止）
- また常勤の特別職の職員等の給与の変更を行うもの。
- 事件案 総数8件
- ▽財産処分について：茂右エ門新田区に市所有家屋（旧高齢者創造館）を売却することに議会の議決を求めるもの。
- 人事案 総数3件
- ▽固定資産評価審査委員会委員：佐藤新一郎
- ※退任：湯本隆之
- ▽飯山市助役：足立正則
- ※4月1日より副市長



助役に選任同意された足立正則氏（55歳）  
前総務部長（3月19日付け退職）  
飯山地区 奈良沢

## 災害時の二次災害防止に頼もしい力

### 避難施設等応急危険度判定に建築士会と協力協定

3月12日、飯山市は社団法人長野県建築士会飯水支部（江口信行支部長）と災害時における応急危険度判定の協力に関する協定を締結しました。

この協定は、地震、風水害、その他の災害の発生時に、避難施設・災害対策本部・現地災害対策本部などが安全に使用できるかどうか、その応急危険度判定を建築士会の判定士に協力をいただくというものです。

この日は建築士会の3名の皆さんが市役所を訪れ、石田市長は「市民にとってとても心強い。建築士会の

皆さんの協力に感謝したい。」とあいさつしました。これに対し江口支部長は「中越地震の際には家屋が倒壊し、屋外に避難している現場もあり、避難所の大切さを認識した。二次災害防止のためにも建築士会として協力を行っていきたい」と述べました。

災害はいつやってくるかわからないもの。市民の皆さんも、いざというときに確実に避難できるように、日頃から自分の避難所の確認や持ち出すものの確認など、万が一に備えていただくようお願いいたします。

## 個人情報保護・情報公開の実施状況

平成18年度中、市に対して請求があった個人情報保護および情報公開に関する実施状況をお知らせします。

▼飯山市個人情報保護条例の規定に基づく記録情報の開示の状況 開示請求0件、開示決定0件

▼飯山市情報公開条例の規定に基づく情報公開請求状況等 請求件数19件【内訳 市長19件（公開16、一部非公開1、非公開1、不存1）】

なお、農業委員会、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会、議会への請求はありません。